

各務記念財団設立趣旨

国運ノ興隆ハ、内産業ノ発達ト外経済ノ進出ニ俟ツコト大ニシテ、之ガ達成ハ懸リテ有為ナル人材ヲ養成シ、内外ノ実状ヲ調査シ又是等ニ關スル學術ノ研究普及ヲ図ルニ在リ。故各務謙吉氏夙ニ思フ茲ニ致シ、生前之ガ方途ヲ稽ヘ、自ラ適切ナル施設ヲ考慮シ居タリシガ、計図未ダ熟セザルニ急逝セリ。氏ノ遺族之ヲ遺憾トシ、遺産ノ内金貳百万円ヲ提供シ生前氏ト親交アリタル数氏ニ囑スルニ氏ノ遺志ヲ実現セムコトヲ以テシ、乃チ本財団ノ設立ヲ見タリ。其ノ目的トスル所ハ、氏ガ生前關係シタル保険、海運、金融、貿易、海外企業其ノ他一般産業界並ニ之ガ部門ノ学界ニ寄与スベキ人材ノ養成並ニ學術ノ研究発達ヲ図ルニ在リ。其ノ後氏ガ五十年間拮据經營シタル東京海上火災保險株式会社ヲ始メトシ、日本郵船株式会社其ノ他多数ノ關係会社ヨリ氏ノ功勞ヲ表彰スル為、金參百八拾余万円ノ寄附ヲ受ケタルヲ以テ、現在本財団ノ資産ハ総額金五百八拾余万円ニ達シ茲ニ前記ノ目的ヲ達成スル為廣ク大方ノ支援ヲ得テ之ガ事業ヲ開始セムトス。

(昭和十四年十月)